

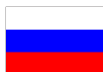
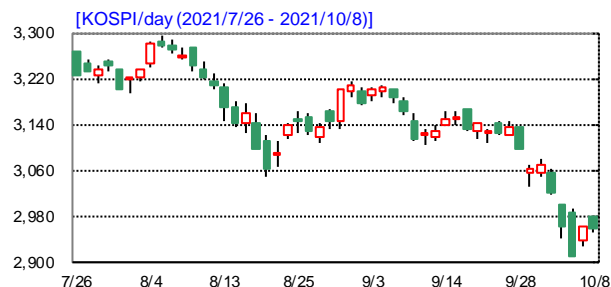


## 【韓国】 総合指数は週間で2.1%安と3週続落、今週は神経質な展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.1%安と3週続落。4日が開天節の振替休日で休場のため、4日間の取引。連休明け5日は心理的節目の3000ポイントを約半年ぶりに割り込み、6日は大幅に続落して年初来安値を更新。米株安が投資家心理を悪化させたことに加え、国内の新型コロナの感染拡大を受けた経済回復の遅れへの警戒感や、米ドルに対するウォン安を背景に韓国からの資金流出懸念が高まり、売りを誘った。主力株のサムスン電子、SKハイニックスが連日で年初来安値を更新。7日は値ごろ感から機関投資家の買いが入ったが、連休を前に8日は方向感の乏しい展開となり、小反落して終えた。今週は神経質な展開か。12日に韓国中銀基準金利が発表されるほか、13-15日は金融統計や貿易統計など主要経済指標の発表が続く。

▼指数チャート

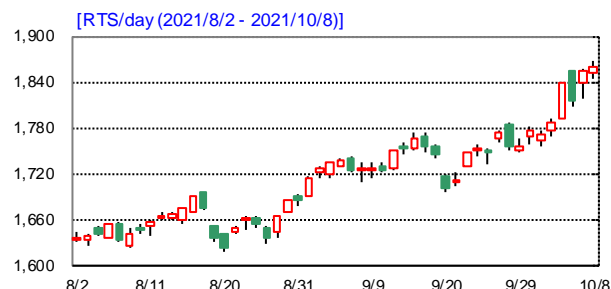


## 【ロシア】 RTS 指数は5.0%高と大幅に4週続伸、今週も原油相場に左右されるか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で5.0%高と大幅に4週続伸。長期金利の上昇を受けた金融株や原油高を好感したエネルギー株が上昇し、けん引となった。指数は週明け4日に0.8%高、5日に3.0%高と大幅続伸。時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが最高値を更新したほか、原油高を好感したエネルギー株が軒並み上昇し、指数を押し上げた。6日は1.4%安と反落したが、7日に2.2%高と反発し、8日は0.4%高と続伸。原油高が続く中、米国債のデフォルト懸念の後退なども安心感につながり、指数は1860.96ドルと2011年8月以来の高値を更新した。個別では金融のズベルバンク・オブ・ロシアが10.2%高と急伸し、エネルギーのタトネフチが7.3%、鉄鋼のセヴェルスターリが5.3%上昇した。今週も原油相場に左右されるか。

▼指数チャート



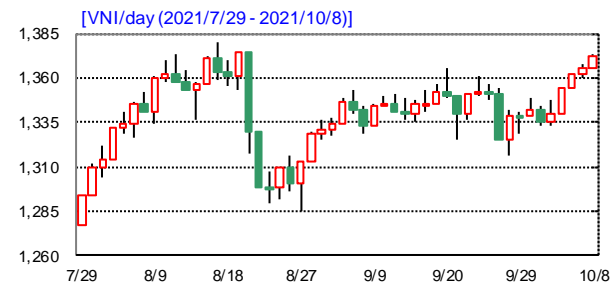
## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.8%高と3週ぶりに反発、今週も堅調な展開か

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.8%高と3週ぶりに反発。主力銘柄に押し目買いが強まる中、原油高を好感したエネルギー株の上昇も指数の押し上げに寄与した。週明け4日は肥料メーカーが軒並み高となったほか、原油高を受けてエネルギー株が上昇し、指数は前週末比0.3%高と反発。5日も海外勢が鉄鋼株などに買いを入れ、指数は1.1%高と続伸した。その後も主力株が買われ、指数は8日まで5日続伸。1372.73ポイントで週を終え、8月19日以来の水準を回復した。個別ではエネルギーのペトロベトナム・ガスが8.6%高となり、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が5.5%、鉄鋼のホア・ファット・グループが4.3%、ゴム製品のベトナム・ラバー・グループが4.3%、食品加工のマサン・グループが3.9%上昇した。今週も堅調か。

▼指数チャート

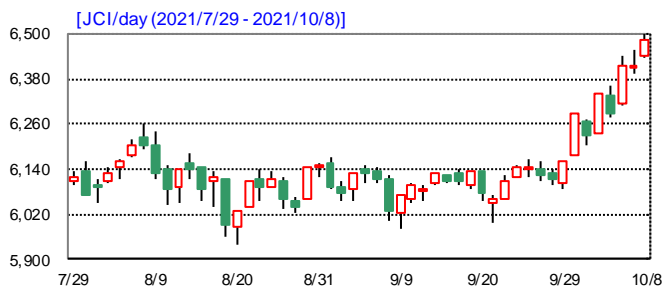


## 【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.1%高、週末に年初来の高値を更新

ジャカルタ総合指数は週間で 4.1%高と 4 週続伸。NY ダウに連動した値動きが続いた。週初の 4 日は、前週末の NY ダウが新型コロナウイルスの経口治療薬普及への期待感を受けて上昇した流れで、指数は前営業日比 1.8%高と反発。5 日は反動で売られたが、6 日は NY ダウの反発に追随して前日比 2.1%高と大きく上値を広げた。7 日に前日からほぼ横ばいで推移した後、8 日は米国の債務上限問題に対する懸念が後退したほか、国内では国会で税制改革法案が可決され、歳入が増加する見通しとなった効果で、前日比 1.0%高と年初来の高値を更新して引けている。今週は 15 日に 9 月の貿易統計が発表される予定。

### ▼指数チャート

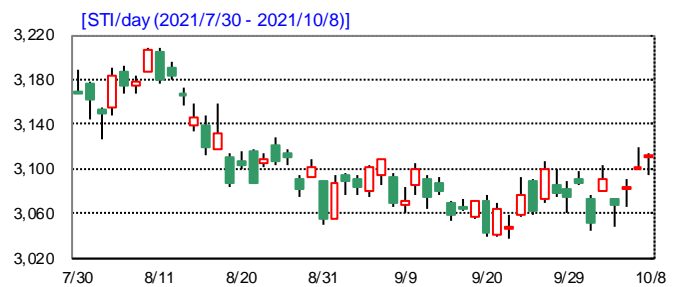


## 【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.0%高、今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.0%高と 4 週ぶりに反発。週初に反発すると、その後もじりじりと上値を広げた。4 日は豪州子会社の売却を発表した通信大手のシングテルと、米国企業 2 社の買収計画を公表した ST エンジニアリングが買われ、指数は前営業日比 1.3%高と反発。5 日は前日の NY ダウが下落したほか、8 月の小売売上高が 7 カ月ぶりに前年の水準を下回った影響で反落した。ただ、6 日に買い戻されると、7 日は終値で 1 カ月ぶりに 3100 ポイント台に到達。8 日は米国の債務不履行回避が買い材料となり、3 日続伸して取引を終えた。今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値が発表される予定。

### ▼指数チャート

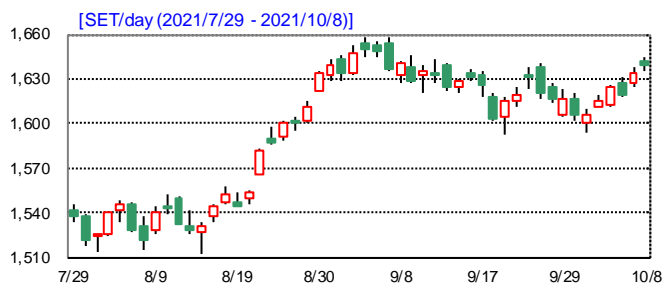


## 【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.1%高、OPEC プラスの大幅増産見送りでエネルギー株に買い

SET 指数は週間で 2.1%高と反発。じりじりと上値を広げた。週初の 4 日は、国内の新型コロナの感染者数減少が好感され、3 営業日ぶりに反発。5 日は OPEC プラスが大幅な増産を見送り、原油先物価格が 7 年ぶりの高値となった効果でエネルギー株が指数上昇をけん引した。個別の銘柄では、子会社を通じて東京ガスエンジニアリングソリューションズとの合弁会社設立を発表したタイ石油公社 (PTT) が上昇。その後、指数は 6 日に反落したが、週後半は消費者信頼感指数の改善などが買い材料視され、7-8 日に続伸した。今週は原油価格の上昇が続けば株式相場の追い風か。13 日はラーマ 9 世記念日のため休場。

### ▼指数チャート

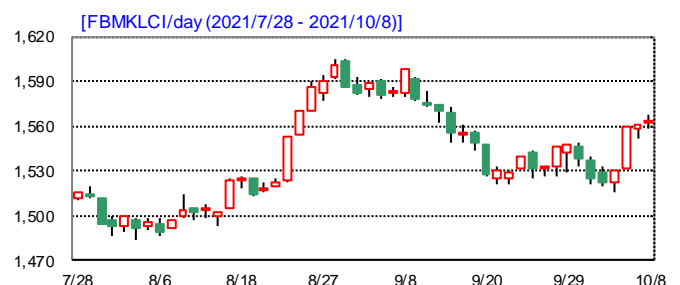


## 【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.6%高、今週は 8 月の鉱工業生産に期待

クアラルンプール総合指数は週間で 2.6%高と 6 週ぶりに反発。プランテーションとエネルギー株の上昇が指数を押し上げた。週初の 4 日は買い材料に乏しく、小幅ながら 3 営業日続落。ただ、5 日に反発すると、6 日はパーム油と原油価格の上昇を受けて関連銘柄が買われ、指数は前日比 1.9%高と続伸した。7 日は引け際の買いで上値を広げると、8 日も商品価格が上昇した効果でプレス・メタル・アルミニウムなどが買われ、4 日続伸して取引を終えている。今週は 12 日に 8 月の鉱工業生産と小売売上高が発表される予定。鉱工業生産は 8 カ月ぶりに前年の水準を下回った前月からプラスに回復するかが注目される。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。